

学校における学力向上の取組

教科名	国語	内容・観点	話すこと・聞くこと	学校名	蓮田市立蓮田南中学校
-----	----	-------	-----------	-----	------------

〈具体的な取組〉

話す・聞くという活動は、国語科だけでなく全ての活動に共通するものである。昨年度は「学習規律を確立する指導体制の研究」という学校研究課題のもと全職員で「教室環境を整える、忘れ物をしない、チャイム着席を守る、始業・終業のあいさつをしっかりと行う、授業中の姿勢を正す、人の話をしっかりと聞く、聞いている人のことを考えてわかりやすい発表を心がける等」に力を入れて指導してきた。その中で、昨年の国語の授業で、特に話すこと・聞くことを意識して取り組んだ学習活動をいくつか紹介したい。

1 話すこと・聞くことの活動の場の設定

(1) ことわざ・四字熟語等の意味や例文を聞き取る作業

週4回の授業のうち、2回ほど授業の初めにことわざの発表タイムを設けた。名簿順に好きなことわざを選び、1時間に一人ずつ意味と例文の発表を行っていった。その際聞き取りやすい発表を心がけさせた。聞く側も真剣に聞き、書き取ることができた。

(2) 読書紹介のスピーチと一言コメント

授業の中でできるだけ全員が発表する機会を設け、自己紹介や読書紹介のスピーチを行った。スピーチは必ず評価用紙を用意し、自分以外の発表に対して、声の大きさや発表態度の評価だけでなく、一言コメントを記入させることで友達の発表を真剣に聞かなければならないようにした。

	氏名	声の大きさ	発表態度	一言コメント
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

【発表記録用紙】

2 聞き取りテストの実施

月に1回の聞き取りテスト実施を計画した。初めて取り組む際には、教科書の「聞く」の学習をもとに話を正確に聞き取ることの必要性を認識させた後、市販のテストを使って実施した。継続することで生徒の取り組む姿勢に変化が見られた。

(1) 解答用紙は質問が印刷されていないタイプのものを準備し、裏返しの状態で配布する。

(2) CDを流し、必要なことは裏面にメモさせる。

(3) 表面にし、名前を記入させてから質問を流す。質問は一度しか言わないので、よく聞き、解答欄に答えを記入していく。

(4) 解答用紙を回収する。教師が採点し、後日返却する。その際、聞き取りのポイントを補足説明する。

〈取組の成果〉

1年間全職員で取り組んできた結果、授業の場面だけでなく、日常生活全般にも話すこと・聞くことへの集中力が高まってきた。今回の国語の結果には、授業だけでなく全校挙げての取組が反映されているのではないかと考えられる。